

# 災害時個別支援計画の策定について

島根県出雲保健所

## 1. 目的

災害時等の支援としては、要援護者リストの作成等行っているが、特に人工呼吸器を装着している在宅療養患者等の災害時等の支援については、個別に検討、計画作成が必要である。

そのため、出雲圏域においては、人工呼吸器装着患者を対象として、介護支援専門員を中心に、患者・家族・かかりつけ医・訪問看護師・ホームヘルパー等の協力により個別に計画を作成し、情報共有を図ることで災害時の備えを行う。

## 2. 作成・利用方法

- ① 患者及び家族に作成目的や活用方法を十分に説明し、作成及び関係者の共有について理解を得る。
- ② 作成にあたっては、介護支援専門員を中心にかかりつけ医、訪問看護師、ホームヘルパー等の関係者と話し合い、情報共有や連携を図る。

### 【作成に際する留意点】

- 「緊急時受療シート」については、訪問看護ステーションを中心とするなど、作成に際しては役割分担する
- 難病患者については、介護支援専門員と連携しつつ、必要時出雲保健所が素案作成や全体調整等のサポートを行う。

- ③ 変更があった場合は、ただちに修正し、最新の情報にしておく。

## 3. 災害対策における基本的な考え方

- 災害対策は日頃からの備えが重要であるため、患者及び家族等に以下の確認を促す
  - 居住地域のハザードマップ、避難場所
  - 避難時に持参する物品
  - バッテリーの有無、稼働時間
- 避難時の移動、停電時の対応訓練を患者宅で実施しておく。